

国の重文に正式指定

近代遺産では県内初

延岡市と日之影町は、鉄道省の時代に建造された延岡市・日之影町の旧綱ノ瀬橋梁(きょうのせりょう)と同町の「旧第三ヶ瀬川橋梁」が、国の重要文化財(重文)に指定されたと発表された。国の文化審議会(佐藤信会長)が昨年10月、文部科学大臣に国重文指定を咨申。12月23日の官報掲載で正式指定となった。近代遺産の国重文指定は県内初という。

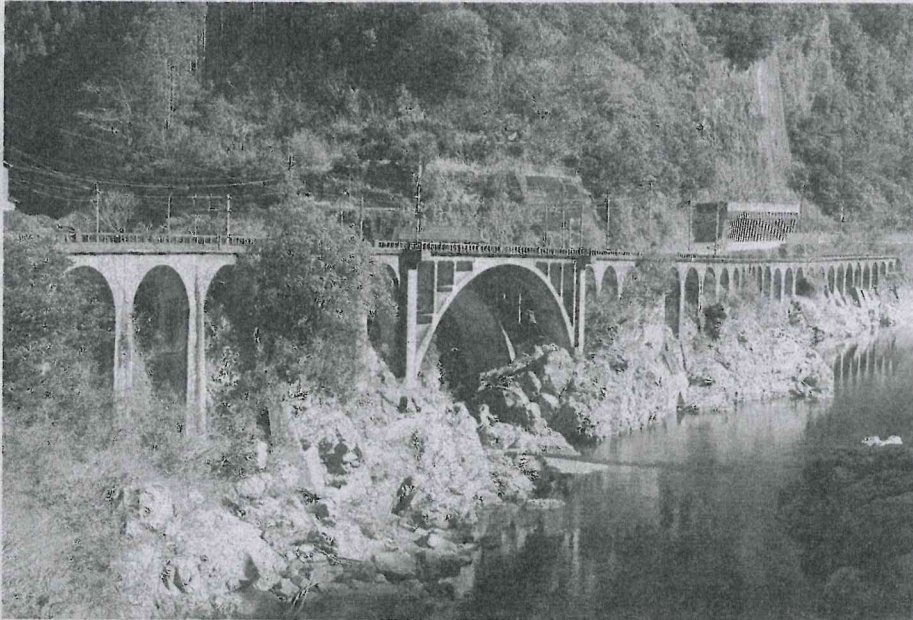
両教育委員会などによ
R高千穂鉄道の亀ヶ崎駅
綱ノ瀬川の合流点に架か
ると、旧綱ノ瀬橋梁はT
横峰駅間の五ヶ瀬川と一
り、1937(昭和12)

昭和12、14年完成
当時の技術を駆使

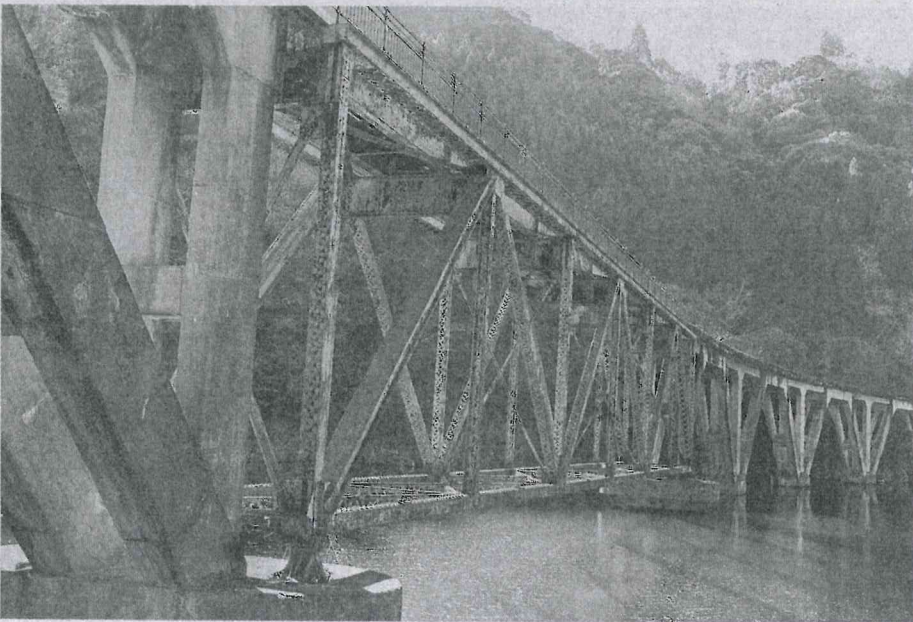
年に完成。綱ノ瀬川に架
かる全長約418m(延
岡市側約315m、日之
影町側約103m)で、
鉄筋コンクリート造りの
大アーチ1連(全間約45
m)と、それを挟むコン
クリート造りの小アーチ

4連(全長3連 田原川
連)で構成する。
旧第三ヶ瀬川橋梁は
同鉄道の吾味駅に近い五
ヶ瀬川本流に架かり、39
(同14)年に完成。全長
約268mで鉄筋コンク
リート造りの連続方杖
(ほうつえ)ラーメン(橋
桁、橋脚、橋台がつながっ
た構造)と、鋼製トラス
橋(三角形を単位とした
骨組み構造)を組み合わ
せた複合橋となっている。
2橋梁は、いずれも日
中戦争と前後する昭和10

年代の鋼木匠月大榎園
れる中、当時の鉄道省が
最先端の技術を駆使して
完成させた橋で、近代コ
ンクリート構造物の技術
的な到達点の一つとして
特に技術的に優秀な点な
どが高く評価されての指
定となった。
県内の国指定重文は、
鉄道宿(こま)、犬、高千
穂神社本殿、木造神像以
上高千穂町、神門神社本
殿(美郷町南郷区)、那須
家住宅(鶴富屋敷、椎葉
村)など県北5件を含む
23件となった。



旧綱ノ瀬橋梁



旧第三ヶ瀬川橋梁